

## 第8回 高円寺地域における新しい学校づくり懇談会会議録（要旨）

会 議 名	第8回高円寺地域における新しい学校づくり懇談会
日 時	平成26年12月15日（月）午後1時～2時50分
場 所	高円寺中学校 多目的室
出 席 者	懇談会委員28名（欠席1名）
傍 聴 者	4名
次 第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 高円寺地域における新しい学校づくりの基本的な考え方（案）について</li> <li>2 就学前教育について</li> <li>3 通学区域について</li> <li>4 その他</li> </ol>
資 料	<p>資料1 高円寺地域における新しい学校づくりの基本的な考え方（案）</p> <p>資料2 新しい学校における就学前教育の推進について</p> <p>資料3 高円寺地域における新しい学校の通学区域について（案）</p>

会長	<p>ただいまより第8回高円寺地域における新しい学校づくり懇談会を開催します。本日は武藤委員より欠席の連絡をいただいております。あとは概ねお揃いになるかと思しますので始めさせていただきます。</p> <p>本日は傍聴の方も何人かいらしていますのでよろしく願いいたします。</p> <p>では、配付資料の確認をします。</p> <p style="text-align: center;">（配付資料確認）</p> <p>まず、最初の議題は「高円寺地域における新しい学校づくりの基本的な考え方（案）について」です。これまで委員の皆様方からいろいろなお話を伺いながら進めてきていますが、本日も引き続き、来年度からの基本設計に向けて、ご意見をいただければと思います。</p> <p>では、前回からの修正について事務局よりご説明いただけますか。</p>
新しい学校づくり係長	<p>この基本的な考え方の案については今回で3回目になりますが、前回の懇談会でいただいたご意見を踏まえ、修正した箇所、修正の考え方について資料に基づきご説明します。</p> <p>まず第1の柱の新校の教育方針の3項目の「これまで培ってきた」の後に赤字で下線が引かれている部分です。「就学前教育施設との連携、リーダーシップを育む教育、地域密着型のキャリア教育など」という部分を追記しております。当初「3校の優れた教育の特色」について事例も含め書き込んでいたものを前回削除した形</p>

	<p>で修正案としてお示ししましたが、就学前教育の推進に取り組んでいくのが見えなくなるとか、計画上も項目として「就学前教育の推進」を掲げていますので、きちんとそこは明記すべきだろうというご意見をいただきました。</p> <p>本日は修正のとおり、改めて3校それぞれの代表的な教育の特色を明示する形で、就学前教育の推進についても、この新しい学校で継承・発展していくことがわかるような表現としました。</p> <p>次に第2の柱の豊かな人間性を育む学習環境等の整備充実ですが、5項目の「特別な支援を必要とする」の後「児童・生徒に対し小学校から中学校まで一貫した支援が行える特別支援学級を設置するとともに、個々の教育的ニーズに対応した個別支援が可能となる特別支援教室を設置する」と、赤字、下線の部分を修正しております。</p> <p>この項目に特別支援学級の設置についての明確な記述が抜けていましたので、その部分を書き込みました。</p> <p>また、前回質疑があった特別支援教室とクールダウンスペースについては、使用目的、意味合いでは同じということもございまして、個別の教育的ニーズに応じた教育の場の整備ということでは、区の行政計画上でも特別支援教室を順次小学校内に設置していく方向性もございまして、「クールダウンスペース」という文言は削除して「特別支援教室の設置」という表現にまとめました。</p> <p>第3の柱の「安全性が高く、地域防災の拠点となる学校」の1項目で、「学校専用部分と地域開放の領域に配慮した」と修正しております。前回、安全性という面から「学校専用部分と地域開放の領域を明確に区分した施設配置」という表現にしておりましたが、その後の第4の柱の最後の項目にもありますように、新しい学校が「多世代が触れ合い、互いに学び、成長する場」でもあることから、やはり明確に区分するとなると矛盾が生じるのではないかとご意見もございました。そこで「明確に区分した」を「配慮した」と少し表現をやわらげた上で、児童生徒の安全面をきちんと考えた施設配置を考えていくことがわかるような形に修正させていただきました。</p> <p>資料では修正箇所になっていないのですが、この第3の柱の3項目の「地震等の非常災害時」のところ、前回、「地域のライフラインを担う」という表現を追加したのですが、この言葉を入れることによってわかりづらい表現になったという思いもあり、この「地域のライフラインを担う」を削って「復旧拠点として十分な防災機能を備えた学校とする」としたほうがわかりやすいのではないかとおぼしめて、ここの部分の削除も修正案としてご提案したいと思っております。</p> <p>修正箇所は以上ですが、本日再度この基本的な考え方の案の内容についてご意見をいただき、改築時の新しい学校づくりの基本的な考え方について確定することができればと考えております。</p> <p>新校における教育目標・教育方針については、開校までに3校の連携をより緊密に深めていく中で、3校の間でまたご検討いただきながら随時懇談会に報告する形で進めていければと考えております。</p> <p>説明は以上です。よろしくお願ひいたします。</p>
会長	ありがとうございます。今ご説明いただいたとおり、できればこの基本的な考え

	<p>方については、本日の会で確定させていただきたいと考えておりますので、よろしくお願いたします。</p> <p>それでは、今ご説明いただいた修正箇所に対する質疑や、全体を通しての文言や表現等含めて何かございましたら挙手をお願いします。</p>
委員	<p>第1の柱で赤字のように直されて明快になったので、こちらのほうがよりよいとは考えます。ただ、これから具体的に進めていく段階で、就学前の教育施設との連携とはどういうことなのかを詰める時間がとられることを期待します。</p> <p>また、リーダーシップを育むといった場合に、今まで小学校の5年、6年あたりで大分リーダー性は育つ時期があった。これも9年を通すという具体的な検討の中で、どのようにリーダーシップを育てていくか。ここではこのような表現でよろしいと思いますが、具体化がこれから問われていくのだらうと思います。</p> <p>あと、第2の1行目がちょっとあいまいな印象を受けます。「杉並らしいみどり豊かな」の「杉並らしい」というのはどういうことかよくわかりません。緑化に努めている杉並区であることは承知していますが、その後の「みどり豊かな、自然」とつながっているかと思うので、「、」（読点）は要らない。杉並区が目指し育てている緑の豊かな自然という意味ではないか。</p> <p>それから「自然に触れあえ、季節感を感じられる教育環境を確保する」ということですが、杉並らしいという言い方は区の方角を伝えようとする意図はわかりませんが、豊かな自然環境ということだけでいいのではないかと感じました。</p>
会長	<p>ありがとうございます。就学前教育とリーダーシップを育むところについては、今後継続でというご意見だったと思います。</p> <p>杉並らしいということについてはいかがでしょうか。</p>
委員	<p>第2の柱の特別支援学級のところで、「小学校から中学校まで一貫した支援が行える特別支援学級を設置」と書いてありますが、これは馬橋とか杉三にある特別支援学級で、中学校は阿佐中にある特別支援学級のことを言っているのですか。そうするともう一つ増えると考えていいのですか。</p>
新しい学校づくり係長	<p>今、委員からお話があったのが、知的の固定学級ということになりますが、確かに小中一貫教育校として9年間を通して支援が必要なお子さんに対して教育をしていくということでは、知的が非常に効果があるとは思っているのですが、高円寺に設置する種別についてはまだ事務局内で詰めている段階です。</p> <p>ただ、これは基本設計にも影響してくる話ですから、次回、何らか事務局からこの特別支援学級についても資料をお出しして、皆さんのご意見も伺いながら、検討していきたいと思っております。</p>
会長	<p>特別支援学級については、まだ検討中の部分もあるようですが、一応基本設計に盛り込んでいくような形でのご提案になっています。</p> <p>ほかにはいかがでしょうか。</p>
委員	<p>先ほど第3の柱の3項目で「地域のライフラインを担う」は非常にわかりづらい表現だということで削除というお話がありましたが、私はこれが入っていることで非常に災害時に何でも対応できる施設ができるというような表現だと思っていました。</p> <p>単純にこの部分がなくなることで、例えば規模とか設備が小さくなるということ</p>

	ではないでしょうか。
新しい学校づくり係長	決して設備上で縮小の方向だから削るということではなくて、私も復旧拠点として復旧までの間、災害時なので不便さもあるのですが、この地域の方たちが避難場所として最低限そこできちんと避難生活ができるようなものということで書き込ませていただきました。委員の皆様は資料を送った後に、表現がわかりづらいのではないかと考えたものですから、急遽、ご提案させていただきました。そんなに違和感がないということであれば、このまま残してもよいとは思っておりますので、ご意見をいただければと思います。
会長	そういうことですがいかがですか。
委員	高円寺中学校が現在持っている防災・震災救援所としての機能よりも、新しく学校ができた場合には、杉十小学校とかが帰宅支援とかを受け入れる拠点になっていると思いますが、そのぐらいのものになるという意味ですか。杉十小学校がどのぐらいの防災施設を持っているか私は知りませんが、今の規模よりは大きなものになっていくことを意味しているのですか。
新しい学校づくり係長	杉十小は学校防災公園という位置づけもあって少し違うところはあるのですが、新しくつくる学校ですので、やはり今後の災害に備えた新しい機能も含めて考える余地もあるということで、こういう表現を入れさせていただきました。 また、震災救援所については杉四小、杉八小でも現在も当然活動もあるわけですので、その辺の話については、前回も防災の話が出たときに防災課の職員をこちらに呼んで、皆様のご意見を聞かせていただくような機会の話も出ましたが、そういう場面も設定していきたいとも考えております。まだ施設としてこれだけのものをと決まっているわけではございません。
会長	防災関係についてのご質問ですが、ほかにはいかがでしょうか。ご質問、ご意見等ございましたらお出してください。
委員	質問です。今の項目ですが、2行目にある「防災機能を備えた学校」という表現が、学校の建物が頑丈であるとか、グラウンドの配置がどうこうとかいう構造的なものに見えてくる気もします。 ただ、構造のほかにここが果たす役割は震災救援所という機能ではないかと思えます。そうすると、地域のライフラインを担う十分な防災機能プラス救援所の機能、その辺の言葉が入ることが必要ではないでしょうか。
学校支援課長	防災機能というと、地域の方が逃げてきて、安全を守るというところはやはりありますので、震災救援所の機能も含まれていると考えます。
委員	そういう意味合いであるならよいのですが、知らないで単純に読みますと、防災というのは地震に耐える、火災に強いとかという程度にしかとれないです。震災救援所としての機能があり、防災機能を備えている学校であると書いたほうが素人にはわかります。
学校支援課長	委員は、例えば環七の延焼遮断帯みたいな建物であれば防災機能が備わるというイメージで捉え、ソフトの震災救援所は別ではないかというご意見ですか。
委員	そうです。建物構造上のことだけで防災機能、地震・火事に対応する施設になっているという意味にとれてしまうんですね。それをむしろ救援所機能という積極的

	<p>な意味を伝えたほうがいいのかと思います。</p> <p>行政の用語としてはこれが含まれているということでしたら、ここの定義の説明をしていただき、理解が求められればというふうには思います。</p>
会長	<p>ありがとうございます。ほかにはいかがでしょうか。</p> <p>それでは、若干整理をしながら進めていきたいと思えます。</p> <p>最初の第1の柱の就学前教育とリーダーシップを育むということについては、今後もまた皆さんで考えながら進めていければと思います。</p> <p>第2の柱の「みどり豊かな」というところですが、「杉並らしい」という言葉が要るか要らないかということですが、これについてはいかがでしょうか。杉並ならではのということもあるかもしれませんが、大きな意義がなければこのままでとも思いますが、なくてもいいということであれば、「みどり豊かな」でも十分意味は通じるかという気はします。</p> <p>特にご意見がなければ案のままで構いませんか。</p> <p>（「はい」の声あり）</p> <p>では、とりあえず原案のままでいければと思います。</p> <p>それから第3の柱の防災のところ「地域のライフラインを担う」という文言について削除してはどうかというご提案でしたが、これについてはそのまま残してよろしいでしょうか。</p> <p>特に異議がなければ、防災というのは、震災救済所はもちろんのことと思えますが、そういう意味合いも込めてこの部分についても元のとおり残しておくこととします。</p> <p>今までの中でいただいたご質問やご意見は一応拾ったつもりですが、ほかであれば出していただいて、なければこのような形で基本設計に向けて進んでいただくような段取りになろうかと思えます。よろしいですか。</p> <p>（「はい」の声あり）</p> <p>それでは、ただいまのところ高円寺地域における新しい学校づくりの基本的な考え方については、この案で確定とさせていただいて、来年度からの基本設計に向けての準備をお願いします。</p> <p>では、2番目の就学前教育です。先ほどの新しい学校づくりの基本的な考え方にも掲載されましたが、新しい学校の特色ある教育活動の重要な1項目にもなるかと思えます。</p> <p>では、この部分について事務局からご説明をお願いします。</p>
新しい学校づくり係長	<p>前回、基本的な考え方の案を検討する中で、就学前教育の推進についてのご意見がございました。新校においても就学前教育の推進を図る上で、設計にかかわるような内容があるかもしれませんが、このタイミングで一度委員の皆様のご意見を伺うことができると思ひまして、本日議題とさせていただきました。</p> <p>就学前教育を推進していくための具体的方策については、新校開校までの今後約4年間で検討を行う必要があると思えますが、本日は何かまとめていくというイメージではなくて、現在の高円寺地域における幼保小連携の取り組みに対する思いとか、新しい学校開校後の高円寺北子供園との連携のあり方、杉四小と杉八小の通学区域を合わせることによって、小学校の通学区域も広がる中で子供園以外の就学前</p>

教育施設との連携のあり方など、幅広く委員の皆様のご意見を伺えればと考えております。

資料2ですが、現在の杉四小と高円寺北子供園の子小連携教育の取り組み、子供園以外の就学前教育施設との杉四小、杉八小の連携状況、また、子供園を要とした高円寺地域の幼保連携の取り組みについて資料をまとめさせていただいております。

それでは、資料に基づきご説明します。高円寺地域における新しい学校づくり計画本文の6ページです。

就学前教育の推進ということで、現在の杉並第四小学校は高円寺北子供園との連携教育を実践しており、「子供園・小学校のかかわりを通して、豊かな人間性をはぐくむ」ことを目標に、それぞれの学びを深める教育活動を行っています。

これまでの成果を生かしつつ、当面、現在の高円寺北子供園を杉並第四小学校に継続して存置し、就学前教育との連携について具体的な方策の検討を行うと記載しております。

その下に、平成26年2月の策定した杉並区幼保小接続期カリキュラム・連携プログラムでは、「子どもの育ちと学びをつなぐには保育者と小学校教員の相互理解できる関係づくりが基本」であるとして、遊びを通して学ぶ就学前教育から教科等の学習を中心に学ぶ小学校教育へ円滑に接続するために、これまで以上に就学前教育施設と小学校のかかわりを深めることが大切であること。就学前教育と小学校教育の段差をうまく乗り越え、小学校の生活や学習に滑らかに移行できるように、幼児と児童の交流活動や保育者と小学校教員の情報交換等の連携が大切であることが示されております。

その下に幼保小連携教育の主な教育効果ということで、ほかにもたくさん教育効果はあるわけですが、例示として挙げさせていただいております。

園児は、小学生と一緒に活動をする中で小学生に認められ、できたという喜びを味わい、小学生に対するあこがれの気持ちが育まれている。

児童は、園児の気持ちや周りの様子を考え、わかりやすく伝えるための言葉選びをするなど、思いやりのある行動が身についてくる。

教員・保育者の交流が深まり、園児の実態や児童の発達、教育内容を相互に理解することにより、それぞれの現場での指導や学習の進め方の参考となっている。そのような教育効果が考えられるということです。

次に、1番、杉並第四小学校と高円寺北子供園の子小連携教育について、その特徴を記載させていただいております。

平成17年度に高円寺北幼稚園が杉並第四小学校内に移設され、平成23年度に高円寺北子供園として開設して現在に至っております。同じ施設内にあるということで、子どもたちも教員もさらに結びつきが強まる環境が整って、日常的な触れ合いやかかわりを大切にしながら、子小連携教育活動を展開しています。また、本年度は杉四小校長が子供園の園長を兼務することによって、互いの教育活動が一元化された形で具現化されています。さらに、杉四小の毎朝の職員会議に子供園職員が参加することにより、学校・園の一日の動きを共通理解し、教育活動を実施しています。各学期初めには、杉四小・子供園の全教職員が集まり、子小連携活動につい

	<p>て、計画・確認・検証する会議を実施して、成果と課題の共通理解を図り、日々の教育実践を行っています。</p> <p>裏面に移ります。主な取り組みとして代表的なところを書かせていただいております。一番大きい取り組みとしては、日常的に交流が行われている環境であることだとは思いますが、学年ごとにここに記載のような取り組みが現在行われております。</p> <p>2 番目です。杉並第四小学校と就学前教育施設との連携状況は、連携先としては高円寺北保育園、主な取り組みとしては1年生の授業体験、高円寺北保育園が杉四小の校庭・体育館を使って運動会を行っています。</p> <p>3 番目、杉並第八小学校と就学前教育施設との連携状況としては、連携先が高円寺南保育園、聖心学園幼稚園等です。主な取り組みは交流給食会への招待で、園児と児童と一緒に給食を食べて、食後に校庭で遊ぶことで園児と児童の触れ合いの機会をつくっております。</p> <p>もう一つがオープンスクールで、就学前の園児が学校生活を体験することで、学校の楽しさを知り、期待をもって入学できるように取り組んでおります。</p> <p>4 番目は高円寺北子供園と他の就学前教育施設との連携状況ですが、連携先は高円寺北保育園、高円寺南保育園、保育室高円寺、マミーズエンジェルなど、幅広いところとの連携が図られています。</p> <p>主な取り組みとしては、杉四小校庭、体育館を活用した交流活動、昨年も高円寺地域保育施設交流会が実施されております。あと夏のプールでの交流活動なども行われています。</p> <p>最後に5 番目として、新しい学校における「就学前教育の推進」の課題等ということで、事務局でこういう課題が考えられるのではないかとということで例示させていただきました。新しい小学校と子供園が、一体となっている環境から、少し離れたような環境になった場合に、ここにも書いてあるとおり、小学校教員と保育者(幼稚園教諭、保育士)の連携、交流、研究などの時間の確保をすること。この辺が推進する上では一番課題になってきます。子供園以外にも地域の保育施設とのこういう時間の確保は、大きい要素となってくると思います。</p> <p>あと冒頭にもお話しましたが、高円寺北子供園以外の就学前教育施設との連携のあり方では、杉四と杉八の学区域が合わさって区域が広がった中で、そこに所在する保育園、私立幼稚園等がございますので、そこでの連携のあり方なども課題になってくるということで、例示として書かせていただきました。</p> <p>この資料に基づいて現状の取り組みとか、今後期待する就学前教育の推進にあたっては、こんな視点で進められたらというような委員の皆様のご意見をお聞かせいただければと思いますので、よろしく願いいたします。</p>
会長	<p>どうもありがとうございます。ご説明にもございましたが、この件については今後教育方針の1つとして十分検討がされていくところだと思います。ですので、皆様からの要望だったりご意見やご質問だったりがあれば、ここでお話いただければと思いますのでよろしく願いいたします。</p>
委員	<p>この就学前の子どもたちに対しての教育で、概ねこういう感じでいければすばらしいと思って聞いていました。</p>

	<p>5番目の新しい学校における就学前教育の推進の課題というところで、小学校教員と保育者、幼稚園教諭、保育士の連携、交流というのは多分できると思いますが、ここでさらに研究と入っています。管轄が文科省と厚労省という縦割りのところで、そういう研究というか勉強会をこれからやっていくという方向でこの言葉を入れたのか、単なる願望なのか。すごく難しいことだと思います。保育士と学校の先生がこれからの子どもたちに対して何かテーマをもって勉強会を行うのは、現実的にできるのでしょうか。</p> <p>現実的にできないのであればという感じです。</p>
学校支援課長	<p>今でも小学校と就学前施設との先生方の交流はあります。就学前教育課長が来ていますので説明をよろしいでしょうか。</p>
就学前教育担当課長	<p>今、保育園と幼稚園と小学校の連携は全小学校でやっております。保育園と幼稚園は管轄が違いますが、遊びを通して学ぶというところでは同じです。</p> <p>教育委員会が主催する研修会でも、保育園の先生と幼稚園の先生と一緒に学んでいるところもあります。ですから、子どもが遊びを通して学んでいくための保育の質を上げようということでは一緒に研究していけるとと思います。</p>
会長	<p>ありがとうございます。先生方の教育研究会があるのですが、そちらは小学校・中学校・子供の先生方、みんなで一緒に勉強している会ですので、ぜひまた保育園の先生方とも一緒に学んでいければと思っております。</p> <p>ほかにはいかがでしょうか。お願いします。</p>
委員	<p>成果とか意見もちょっとお話ししたいのですが、前段に、就学前というのは誕生してからだと思います。この場合、施設との連携というのが書かれていますが、杉並区が出している就学前教育の推進という点での範囲をまずご説明いただきたいと思います。</p>
就学前教育担当課長	<p>就学前という表現はゼロ歳からと捉えることが多いと思います。とりわけこの幼保小連携になりますと、幼稚園とともにということ、教育的機能というか、保育園においても教育面に取り組むのは3歳以上となりますので、幼保小連携ということでは3歳以上の教育の連携です。</p> <p>ただ、ゼロ歳から2歳まで全くしないということではないので、この部分については保育園、保育室等でその発達段階に応じた子どもたちへの幼保教育を一体化した保育というのは、保育園なので保育課のほうですね。</p>
委員	<p>まず、杉四小と現在高円寺北子供園で平成17年に幼保小連携教育が始まり、もう10年前ですが、まさにそのときの説明会から私はもうずっと見てきました。当初は幼稚園施設と小学校が同じ敷地内に入ってうまくやっていたのかと、どちらかという不安のほうが多々ありながら、児童数も減ってきたというのが当時の印象でした。</p> <p>ただ、その後にさまざまなソフト面での交流といったものが非常に強化され、素晴らしい成果を生んできたと思います。その成果を生んだ中で、実は幼稚園が子供園に変格して、当然所管も変わってきた。</p> <p>そして、その幼児教育という部分で恐らく連携を強めるという意味合いもあって、現在は杉四小の校長先生が園長先生を兼務されるというようなことで取り組んできていると思います。</p>



	<p>こういった取り組みに関しては子どもだけではなく、その保護者もスムーズに小学校への教育に入れるという部分で、施設一体であるこの連携教育は非常に素晴らしいものがあると思います。</p> <p>しかしながら、新しい学校ではそういったスペースがとれるかどうかという問題等も出てくるかと思えます。ただ、このうまくいった成果というのはぜひ検証していただき、皆様にもいろいろな意見を伺いながら進めていっていただければと思います。</p> <p>あと、0歳からという部分ですが、私ども地域教育推進協議会というのは、0歳から15歳の子どもの育成や教育をコミュニティの問題として考え、家庭・地域・学校が責任を分担するといった組織です。当然この杉並区に誕生してから、就学前にかかわる子どもたちというのも、これは教育の分野でさまざまなものを提供していくものだと思っています。</p> <p>今、施設連携という部分で考えれば、確かに保育園はそういった年少、幼少期の子どもから乳児期といった子どもたちが携わるところではあるのですが、保育園・幼稚園に行かない手前の世代はどうなるのか。なかなかかわりが出てこないと思います。そうなってくると、当然のことながら保育センターか保健所といったところとの連携なども踏まえて、やはりさまざまな情報発信はしていかなければいけないと私は考えております。</p> <p>もちろん先ほど他の委員から行政の縦割りの中でという部分があったのですが、これは我々地域の中でも、地域が協力してやっていくことで、地域主体となってやることもできるかと思えます。それをやるべく拠点となるものは、ぜひこの新しい学校の中に、施設としてではなくてもいいので、機能として備えていただければ、この新しい学校で、この高円寺で生まれ育ってから就学前を経験し、小学校・中学校を過ごしていけるといった部分を担っていけるのではないかと考えております。</p>
会長	<p>ありがとうございます。貴重なご意見をちょうだいしました。</p> <p>ほかにはこの部分についてご意見、ご質問その他ございましたらいただいておりますながら、また今後の話につなげていければと思います。</p> <p>よろしいですか。</p> <p>では、まだこの後も検討は続いてまいりますので、こういったことはどうかというのがありましたら、ご連絡いただければ幸いです。</p> <p>それでは、きょう頂戴したご意見を踏まえながら、今後また検討してまいりたいと思っております。また、教育方針など含めて取り組みの方向性など定まってきましたら、随時懇談会でご報告申し上げていきたいと思っております。ありがとうございました。</p> <p>それでは、次第の3番目の通学区域についてということで、これも前回に引き続き課題とさせていただいた部分です。改めてお気づきになった点や気になった点がございましたら伺ってまいりたいと思っております。</p> <p>まず、事務局から説明をお願いいたします。</p>
学事係長	<p>よろしくお願いたします。</p> <p>お手元の資料3「高円寺地域における新しい学校の通学区域について」ですが、前回に配付した資料と大方変わりませんが、もう一度ご説明します。</p>

	<p>新校開校時の通学区域については、小学校は現在の杉並第四小学校、杉並第八小学校を合わせた地域、中学校については現在の高円寺中学校の通学区域と同様とする方向で進めていく予定です。</p> <p>ただし、小中一貫教育の効果が最大限に発揮されるよう、中学校と小学校の通学区域については合致しているところが望ましいということで、整合性を図る方向で今後検討していく予定です。検討にあたりましては、通学状況、皆様のご意見等を伺いながら、開校後にしばらく検討させていただいた後に、調整を図っていくよう検討を進めていきたいと思っております。指定校変更制度が現在もございますが、その中に学校を選択できるよう特例措置を盛りこむ形にして進めてまいりたいと考えております。</p> <p>現在、小学校と中学校の学区に差異があるところはどこかという、裏面に地図がありますが、こちらのAとBのところ。Aの地域については新校の小学校の通学区域になる予定ですが、中学校は、開校時、今のまま高南中学校となる区域です。この地域の方については、現在、杉八小に通っていらっしゃるようになりますが、中学校進学にあたりましては高円寺中学（新校）への進学に配慮します。また、小学校入学時にも高南中の連携校である杉三小、杉十小への入学を配慮するという形にしたいと考えております。</p> <p>それからBの地域についても、現在、杉三小に通っていらっしゃる方ですが、中学校が新校ということで、あらかじめ9年間の新校での学習をしたいという方への配慮として、杉並第四小学校あるいは杉並第八小学校への入学を配慮するとともに、従来杉並第三小学校、高南中学校については連携もありますので、中学校進学にあたっては高南中学校への進学の配慮もします。このようにA地域とB地域については、小学校と中学校の連携等が異なっておりますので、そこら辺を考慮していきたいと考えております。</p> <p>今後のスケジュールですが、平成28年度入学からこういった配慮ができるように進め、開校後しばらく就学状況などを見て、できるだけ通学区域は小学校・中学校が一致するような形で検討していく予定です。来年度以降、地域の方々にもご説明しながら進めてまいりたいと思っております。</p>
会長	<p>ありがとうございました。今のご説明に何かご質問、その他ございましたらお願いいたします。</p>
新しい学校づくり係長	<p>今、学務課から説明させていただきましたが、資料の上に「案」と入っていると思います。一応イメージとしますと、この資料を用いて今後、27年度に学校や地域の周知を図るのですが、今年度中から杉四小、杉八小、高円寺中はもとより、関係する杉三小、杉十小、高南中の学校評議員会やPTA運営委員会にご説明させていただこうと思っております。</p> <p>そのときに用いる資料案としてイメージしたものをもちましたので、そんな視点でこの資料を見ていただけるとありがたいと思います。</p>
会長	<p>今ございましたとおり、今後これは保護者や地域の皆様に示す資料案という視点でも見ていただきたいということですので、何かございましたらこの場でご意見いただければと思います。</p>
委員	<p>来年度入学の就学児童生徒には適用しないのですか。</p>

学校支援課長	27年4月はまだ学校希望制度がございましたので、制度がなくなる28年度入学からと考えております。
委員	学校希望制度では支障はなかったという理解でよろしいでしょうか。
新しい学校づくり係長	学校希望制度の受付が始まる前に、杉四小、杉八小のオープンスクール等には伺って、参加された保護者の皆様には高円寺地域に平成31年度に新校開校の計画があるということをご説明し、理解してもらった上で希望申請を出してもらったという形をとっております。
委員	これが今年度に出てしまうと、来年度の児童生徒にも適用しないとまずいのではないかと思います。
新しい学校づくり係長	平成27年度入学ということですか。
委員	はい。指定校変更は可能なわけじゃないですか。
新しい学校づくり係長	学校希望制度の適用が来年度入学まではあって、さらに指定校変更制度もありましたので、この特例措置に関しては、28年度の入学から適用することによって、小学校や中学校に進学する際に、計画を踏まえ学校を考えた時に、選択肢が広がるように特例を設けていきたいということで、この制度を考えました。
委員	ただ、今年度中にこれが出てしまっただけで、28年度からとなったときに、それを知っていたら、という世帯は出てきませんか。
新しい学校づくり係長	タイミングというところですね。今は案の段階ですが、例えば説明時期によって混乱を招くようなことがあれば、そのタイミングも今後考えていかなければいけないと思います。
会長	ご説明のタイミングも含めてご検討ということでいければと思います。資料自体について何かご質問等あればお願いできますか。
委員	小学校と中学校の区域に関しては新校になってもこのまま変わらないということでしょうか。
学事係長	杉並第四小学校と杉並第八小学校の通学区域を足した区域が新しい小学校の通学区域になる予定です。中学校は現在の通学区域と同様に、桃園川緑道が境になっておりますが、緑道より北は新校の中学校になります。
委員	例えば、このB地域は、小学校は杉三小で中学校は高円寺中ということは、新校になったとしても変わらないということですよ。
学校支援課長	それで開校する予定です。ここにもありますとおり、開校後の児童・生徒の動向を踏まえ、なるべく小中学校を揃えていく形で通学区域を検討する予定です。
委員	それが曖昧過ぎてわからない。やはり小中一貫教育をすごくうたっているわけですから、その狭間にいるAとBの地域に関しては、その辺が曖昧です。例えば、小学校は杉三小で中学校は高円寺中となったときに、保護者の不安はすごく大きいと思いますし、様子を見てとか、ニーズを見てという説明だと、かなり不安要素が大きいです。現時点でどのように今後を考えていらっしゃるのかお伺いできたらと思います。
学校支援課長	将来あるべき姿としては、小中の通学区域は一致していることが望ましいと考えております。ただ、それを今すぐ再編してしまうと、保護者やお子さん、地域に混

	<p>乱を招いてしまうので、開校後、状況を見た上で検討したいと考えております。</p> <p>杉並和泉学園は、平成 27 年に開校しますが、同じような措置をとります。平成 31 年頃に子どもたちの動向を見ながら、33 年に確定する予定で考えております。</p> <p>高円寺地域も開校した後にしばらくして、また皆さんとお話し合いをした上で確定していきたい。小中の学区域が 1 つになるような形にしていきたいと考えております。今は何年頃とはまだ申し上げられません。</p>
委員	<p>今、委員がおっしゃったことは僕もすごく感じます。基本的な考え方の案のところに学びの連続性とか系統性とすごく格好いい言葉、すごくすばらしい言葉が載っているのですが、それを現場に置いたときに、ここの地域の A と B はどういう捉え方をしていますか。</p>
学校教育担当部長	<p>私から具体的にお話をさせていただきます。B のエリアは杉三小に通っている方、杉三小の学区エリアで、ここは中学になると高円寺中の指定を受けて、高円寺中に行くのが基本になります。</p> <p>ただ、当面の措置としては、高南中で小中一貫をやっていますから、そこに入学することも可能にするため特例措置を設けるといことです。高円寺中に行くことも可能ですし、高南中に行くことも可能です。当面はそういった選択をしていただくということで進めていきたいと考えています。</p> <p>A の地域も同じで、通学区域は、杉八小で、中学は高南中に指定されますけれども、今まで高円寺中といろいろ連携があったわけですから、そちらを選択することも可能で、どちらも選べるという形で今考えています。</p>
委員	<p>その小中一貫教育として見たときに、ゆくゆくは小学校と中学校が一緒というお考えも十分わかりますし、その狭間でこういう措置をとっていただいているのも十分わかります。</p> <p>そこになるまでの小学校は杉三小だが高円寺中に行こう、杉八小だけれども高南中に行こうと思った子どもたちに対する小中一貫教育に関して、どのようにやっていかれるかを十分考えて定義してもらわないと、保護者としては不安です。</p> <p>説明としては十分わかります。考えていらっしゃることも十分わかります。小学校から小中一貫教育をやられている中に、中学校から入っていくことは可能であることに対しての心配というか、これを提示するのであれば、その辺の説明もしていただかないとかなり不安要素が残ると思います。私や他の委員さんも B 地域なので、やはり不安があります。</p>
学校教育担当部長	<p>その不安はわかります。要するに小中一貫教育をやっているのに、別の中学へ行く不安があるとおっしゃることはよくわかります。</p> <p>現在の小中一貫教育をやっている他の小学校と中学校にも、実際には通学区域のずれがあります。それは一致するのがベストだと私も思います。ただ、実際には学校支援課長が申し上げたとおり、今すぐに一致させるのはなかなか難しい課題があると思います。その辺はまた今後検討しなくてはいけない課題としては認識しております。</p>
委員	<p>今、ご検討いただけるということでしたが、何を検討するのですか。</p>
学校教育担当部長	<p>小学校と中学校の通学区域の関係で、小中一貫教育を一緒にやっていた中学校に進学できないというケースもございます。</p>

	高円寺地域に関しては、動向を見ながら検討していきたいと考えております。
委員	<p>何でもここまで聞くかという、ここにいる委員の方はそういう状況を知っているわけです。すごくリアルに感じています。でも、事務局というか教育委員会の物の言い方は何かリアルじゃない。今回のAとBの地域をどうするのといったときに、これから子どもが学校に入るといってお母さん方はすごく真剣に考えるわけです。その重みというのは、もっと考えて欲しいです。</p> <p>例えば、この資料とかを見せて、だからどうするのと言われたら、私たちもうまく答えられないと思います。その重みを真剣に受け止めているという気持ちが伝われば全然いいと思います。</p>
学校教育担当部長	その辺は教育委員会として親身にやらせていただきます。
学校支援課長	就学前の保護者にもまた丁寧に説明していきたいと思います。
委員	<p>27年度の入学する方にもある程度説明していると思いますが、そこら辺の保護者の家庭に関しては、情報収集した中で選択できるので、私はそんな大きなところは感じていないのですが、ただ、いま就学している子どもたちのほうが私は問題だと思っています。</p> <p>少なくともこんな明確な案が出る。そのときに今就学している子が途中で転校するのか。それもありません。ただ、現実的にできないですね。そういったこれから先4年間の子どものそこら辺のケアをもう少し踏まえた形で、いま言ったような小中一貫教育という部分を含め、それ以前に小学校での自分たちの生活の部分ですね。だって、明らかに線引きがされることによって、同じ小学校に通っている子どもたちが、選択はできるかもしれないけれども分かれてしまうという部分も出てくる。そこが非常に大きなところだと思うので、ぜひ現在就学している子どもたちのことにも、もう少し対応を考えていただきたいと思います。</p>
会長	ありがとうございます。そのあたりは学校も含めて考えていかなければいけない課題であると認識しております。
委員	この特例措置の対象になっているAとBの住所以外に住んでいる子たちは、27年度入学で選択制が終わるので、31年に開校するまでの期間、中学校を選ぶ子たちは、もうその住所の通学区域の高円寺中、高南中という形で、杉四小の生徒でも杉八小の児童でも、AとB地域の住所にいないとそのような対象にはならないんですよ。
学校支援課長	今回の特例措置はあくまでAとBの地域になりますので、28年以降はまず指定の学校へ行っていただく形になります。ただ、さっきも学事係長がご説明したように、指定校変更制度の措置はありますので、またそういったことで違う学校へ行くことは可能だということです。
委員	<p>それに対してはやはり杉四と杉八の子には、少し緩やかな対応はしていただけるんでしょうか。これだと杉八小は高円寺中、高南中両方の学区に住んでいますので両方に行きますよね。</p> <p>うちの子は今4年生なので、中学を選択するときにはもう選択制がちょうど終わっている、私の住所でいうと高円寺中になります。でも、高円寺中をその時点</p>

	<p>で選択したとき、1、2年生のときに工事期間中です。それを気持ちよく送り出せる親と、不安で送り出す親もいると思います。最初からそれがわかっているのだったら、落ち着いた環境でと考える方もいらっしゃると思います。</p> <p>あと、杉四は多分この形だとみんな高円寺中ですが、杉四の中にもやはりもしかしたら不安を抱えている方がいて、杉森中とかほかのところを選択したいと考える親御さんは普通にいらっしゃると思うので、そういう意味で杉八小、杉四小の中の新しい学校づくりに関係するような子たちというのは、少し緩やかな対応があるのかとお聞きしたかったのですが。</p>
会長	指定校変更に関することですね。学事係は何かございますか。
学事係長	<p>杉並区全体として小中一貫教育をやっています。小学校から2つに分かれて、別々の中学校に行くこともケースとしてはあります。ただ、この地域については施設一体型の小中一貫教育校ができるということで、なるべくこのAとB地域の方には配慮させていただきたいと思っております。</p> <p>工事期間中等もあって、ほかの学校というお考えの方がいらっしゃることもありますが、現在では学校の工事等による指定校変更はお認めすることはありません。ただ、今度、指定校変更で学校希望制に変わるものとして、特に中学なんかは自分の学区域の学校にクラブ活動がないときは隣接の学校に行きたいとか、そういった新しい項目を去年から追加しております。</p> <p>そういった項目を利用して、隣接の学校にはなりますが、指定校変更という形で申請をいただくことは可能かと思えます。ただ、学校にも規模がありまして、余りにも大規模校になってしまったりする場合には、必ずしも全部がオーケーというわけではございませんが、そういう志望をすることは少し残されています。</p>
会長	個別に相談ということになるかと思えます。
委員	<p>うちの子どももそうですが、このままいくとちょうど工事期間中に杉四から高中に通います。高中に通っている工事期間中、どこで授業をして、どこで体育をして、どういう形で教育がされるのかという過程がわからないから、保護者はとても不安です。</p> <p>そういう不安があるから、杉四だから高中に入れさせようと気持ちよく言えない。あくまでも5年後の新しい学校がすごくすばらしいものができるように今ここで話していると思いますが、その過程については一体どういうふうに説明をされるのか。保護者としてはそこが一番聞きたいところです。</p> <p>5年後に入る子は新しい学校なので、過去のことは全然頭がないわけですよ。けれども、その過程というのが一番大事ではないかと思えます。そういう説明はこの会では全然されないのですが、工事期間中に子どもたちがどういう生活ができるのか、説明していただけるのでしょうか。</p>
会長	それについてはまだ議題になっていないので、これからの話かと思えますが、何か事務局からあればどうぞ。
新しい学校づくり係長	<p>来年度基本設計の時期を迎えますが、まだ決定ではないのですけれども、高円寺中の校地に仮設校舎をつくってというのが今のところの考えとしてあります。</p> <p>仮設校舎を建てて、それ以降2年間の工事期間中は運動する場所がなくなってし</p>

	<p>まうということですが、これまでも改築校の工事期間中については、代替施設などをできるだけ近い場所に確保できるよう措置をとっています。やはり同じような形にはなろうと思いますので、その辺が具体的になりましたら、もちろんこの懇談会もそうですが、実際には学校の保護者、学校関係者にもこちらからご説明していくということになろうか思います。まだ具体的にお示しできる内容がなくて申し訳ないのですが、我々も準備をしながらこの新しい学校づくりの新校舎建設にあたって臨んでいくという形になりますので、もうしばらくお待ちいただくような形になろうかと思います。</p>
会長	<p>本当にご心配なところだと思いますし、学校としても同じなのですが、宿題ということで預からせていただければと思います。</p>
委員	<p>結局、杉八と杉三はこういうふうに一応措置がとられていますが、杉四の場合は一切ここに入っていないとなると、公立中学に行きたくても杉四からは高中しかないんですね。そうすると、その工事期間中に不安を抱いているお母さん、子どもたちは、私立を受験するしか方法がないという選択になってしまいます。今5年生のお子さんは選択制がなくなります。そうするとこの地域では、高南中に行こうかと思っても高南中には行けない。では、杉森中に行こうかといっても選択制がないので、公立中学という選択が一切なくなってしまうんです。</p> <p>そうするともう杉四の人は本当に高中か私立という二択になってしまうので、そのところはやはり義務教育ということで、公立中学に行かせたい親はいると思います。その選択を考えていただけたらと思います。</p>
学校支援課長	<p>親御さんとしては工事期間中の2年が一番心配になっているのは十分理解しています。ただ、杉並の学校は老朽化がどんどん進んでいますので、建て替えなければいけないのですが、そういった学校にも、こういった特例措置がないので、工事期間中に当たってしまうけれども、指定通学区域のその学校へ行っていただくのは今後もずっと続く形になります。</p>
委員	<p>なので、希望制がなくなってしまうところが、今後の課題ではありますよね。あとは私立しかない。</p>
新しい学校づくり係長	<p>先ほど学事係長からも説明させていただきましたが、現状は学校希望制度がなくなると、指定校変更制度の基準の中での対応になってしまうのですが、特色ある教育活動の項目は、例えば指定校が高円寺中だけでも、杉森中や高南中の教育活動で、この特色ある教育活動に参加することを志望するというような形で申請していただくことによって、確かに受け入れの問題もありますが、一応可能な制度にはなっています。</p> <p>ですから、公立に行きたいけれども、例えば工事期間中に高円寺中はどうしても避けたいといった場合は私立しかないということでは決してなくて、今のところはそういう制度しかないのですが、そういう制度を利用しながら考えていただくような状態になっているということでご理解いただきたいと思います。</p>
委員	<p>保護者としてこの小中一貫の新しい学校にすごく魅力を感じているのですが、やはりそこに行くに至って、子どもが不安を感じながら教育を受けるのは余りよくないことだと思いました。</p>
新しい学校づ	<p>工事期間中は、教育委員会としてもできる限りその教育環境が悪くならないよう</p>

くり係長	<p>には配慮するにしても、やはり実際にはさまざまな不安だったり負担だったりがあると思います。ですので、工事期間中もそこで過ごしても大丈夫だというぐらいの環境を整えられるように、我々も知恵を絞って考えていきたいと思いますので、よろしくお願いたします。</p>
会長	<p>ありがとうございます。工事期間中の対応も含めて今後この会でご議論いただく形になるかと思ひますし、先ほどもご指摘いただいたタイミングの問題、指定校変更制度も含めて丁寧な説明が求められると思ひますので、今後も事務局と学校その他で相談しながら丁寧に対応していければと思ひます。</p> <p>ほかに何か学区についてありますか。</p>
委員	<p>今、工事期間中の不安が保護者の観点から出ましたが、もともとこの新しい学校をつくるというのは小中一貫校をつくるわけですよ。小中一貫教育の成果を出していくわけですよ。</p> <p>そうすると、その小中一貫教育がすばらしいものだとということであれば、全員が全員ではないかもしれないけれども、建築期間中の2年間という不安は和らぐと思ひます。どうもここまでの状況を聞いていると、小中一貫教育という部分がきっちり伝わっていないのではないかと私と思ひます。保護者の方はどうですか。もう少しその中身自体は、私なんかは始まりからいろいろな意見も言っけて全部熟知していますが、これは学校が発信していくものと思ひます。</p> <p>そこら辺に何かギャップがあるように感じるのですが、先生方、保護者の方はいかがですか。</p>
会長	<p>何かこの意見についてどうぞ。</p>
委員	<p>もちろん小中一貫教育のすばらしさを伝えていくのはすごく大事だと思ひますけれども、それを発信すればするほど、AとBの地域に住んでいる人たちは、そこから外れていく不安を感じてしまうわけですよ。</p> <p>でも、公立教育ですからどこの中学に行こうと同じ教育を受けられることが、やはり皆さんはちゃんとわかっていない。杉並区で行っている小中一貫教育は、どこの学校に行っても、例えば中学がかわったとしても別にそこに不安はないですよということを伝えて差し上げるとか、やはり新しくできる学校が小中一貫ですばらしいところばかりをうたい過ぎると、取り残されていくような気になってしまうのではないかと思ひるので、そこは配慮してお話ししていただいたほうがいいのではないかと思ひます。</p>
委員	<p>今のご意見に少しつけ加えさせていただきます。私はちょうどこの10年間、高円寺北幼稚園、そして、幼稚園が杉四に入って、杉四の中で子供園になってと、結局3人の子どもがそれぞれに通いました。その中で学校選択制があつて、いろいろな地域から高円寺北子供園には来るけれども、そこからそれぞれ住んでいる地域の学校に行きます。そのところで学校選択制があるからと、やはりお友達と一緒にいたいから、ここでの連続した教育を受けさせたいからということで、高円寺北子供園から杉四小を希望される方も結構いらしたと思ひます。うちは子供園に通つて杉八小に行きました。幼稚園の場合は親の意思も大きいと思ひますが、小学校から中学校という選択する上で子どもの気持ちもものすごく大きいと思ひます。親はこういう場でいろいろな情報を得て考えられますけれども、子どもたちも選べるとい</p>



	<p>ったときに相当悩むと思います。</p> <p>私たちが子どものときはそれこそ桃園川でバンと切られて、遠くだけれども高南中に行かなければとか、目の前の家の子が高円寺中に行ってしまうとか、それはもうみんなそうだからとずっときていました。それが、うちの前を通過して杉四に行く子どもがいるとか、ここ何年かはずっとあったわけです。それがまた選べると、いろいろ選択肢があってすごくいいようにも見えますけれども、結局、その出した選択はあなたに責任があるというか、何か責任を投げられているという印象です。</p> <p>本当に公立の小学校・中学校ではそれぞれの特色ある教育が受けられるけれども、やはりちゃんとしたものは守られていて、どこに行っても十分な教育が受けられるというのをアピールして行ってほしいと思います。</p> <p>普通の学校の建て替えで新しい校舎ができるのと、小中一貫校として新しい校舎ができるのでは、校舎が古くなって普通に建てかえの工事期間だから、それを理由に学校を選ぶ人は余りいませんというのとニュアンス的にまた違ってくるのではないかと思います。だから、そこら辺を配慮していただければと思います。不安を抱えていて、こういう場にもなかなか出る機会がないと、噂とかそういう情報だけで、ああなんだ、こうなんだとかなり心が揺れてしまうので、そういったことをこの特例措置の地域以外の杉八小の子たち、杉四小の子たち、杉三の子たちが迷わないで済むようにしていただきたいです。住所を変えないとだめだとかという、本当に引っ越しする方とかいらっしゃいますからね。そういうのも考えると、そこまでするのかと思いつつも、それだけ大きなことでもあるんですよ。</p> <p>線を引いてというのはなかなか難しいとは思いますが、引くならば、きっちり引いていただきたい。曖昧にして、この人はどっちでもいいとかいうのではなくて、引くなら引いて、決めたからにはちゃんとしたものを提供するという区の姿勢を出していただければ納得というか、考える基準にもなると思います。</p>
会長	<p>ありがとうございます。気持ちはよくわかりますので、このあたりのところも十分考えながら、丁寧な説明であったり、指定校変更についてのお話であったりということになるかと思いますが、ほかに何かあればどうぞ。</p>
委員	<p>先ほど部長から検討するという話がございますが、今回のAとBという暫定的、いわゆる特例という形だと思いますが、私も区割りは重要だし、選択制度はどうなのかと思っています。</p> <p>友達があっちへ行くから僕もそこへ行くとか、あっちへ行くとかという話も出てくるし、親はどここの学校へ入れるかというのは、結構リサーチしているつもりでも、実際入ってみなければわからないところがあるじゃないですか。今、小中一貫で非常にいい学校をつくるんだとやっていて、さっきも誰か言いましたが、そうすると他が全部見劣りしてくるような感じだと思うんです。ただ、実際にこの小中一貫でいい学校をつくれれば、それに対して、他の学校がもっと頑張っってすごくいいものをつくっていくのではないかと思うので、結果的にどこに行っても、子どもはちゃんと育つと私は思っています。</p> <p>何を聞きたいかという、このAとBは特例措置ですからずっとではないわけですよ。ずっとだったら特例ではないわけですよ。最終的にはAとBがどこに落ち着くのかという話になってくると思います。</p>

	<p>例えば、私は今Bの地区に住んでいますが、そんなにいい学校ができるならBの区域の人はほとんどみんな小学校を選ぶときに杉三ではなくて、高円寺中学校の母体校に行ってしまうと思います。そうするとBはずっと上にいってしまっ、最終的に区割りを検討するときに、きちんと区割りは検討してくれるのか。</p> <p>もし区割りについてそんなにガタガタ言うんだったら、乱暴に言ってしまうと、区割りを全部なくしてしまえばいいという感じがあります。もう好きな所へ行きなさいという感じです。区割りが日本のいいところなのか、アメリカとかあっちみたい好きなのところに行く。全部自分で選べるというふうにしてしまったほうがいいのかと思います。</p> <p>乱暴な意見ですがそれは別として、それぞれ皆さんは不安だという意見があつて、そうやって選択制をつくっているわけじゃないですか。最終的には区割りも重要ではないかということがあつて、そこも踏まえて暫定でつくったというからには、最終的には線引きも考慮してあるのか。先の話ですから意見を今言っても難しいかもしれませんが、そこは確認しておきたいと思いました。</p>
会長	ほかに何か確認したいようなことがあればどうぞ。
委員	<p>今、いい学校とは何だろうと考えたときに、施設の話になっていますが、実は子どもたちにとってはそこにどんないい先生がいるのかという、先生によるような気もします。その辺も考慮していい学校をつくるということを考えていただけたらと思います。</p> <p>個人的な話ですが、僕の家はAのエリアに属していますが、希望選択制があるので高中と高南のどちらに行くかといったときに、高円寺中を選んだ1つの理由が距離感です。そのときの子どもたちのムーブメントにもよるのですが、高円寺中にバトミントンをよく教えてくれる先生がいるからそこに行くという感じで選ぶんですよね。結局その先生は配属がかわってしまっ、教えてもらうことはかないませんでした。そういう先生で選ぶというのもやはり第2、第3にはあるのではないかと思うので、その辺も考慮してこれから考えていただければありがたいと思います。</p>
会長	ほかにはいかがでしょうか。
委員	区割りを今なくしたらという話があるのですが、それもいいんじゃないですかね。かえって区割りというのは、結局あそこの学校の子どもが少ないからというので線を引いて、平等にするとかという考えで区割りをつくったわけですか。
会長	学区域はもともとあったのですけれども。
委員	それが結局どこかの学校が多くなっ、こっちの学校は少なくなっ、まっ、とかいうので、選択制ではなくて指定校制度という形をとったわけですか。
学校教育担当部長	<p>私から、学校選択制が何でできたのかというお話と、何で今度また指定校制度に戻したのかということを説明させていただきます。</p> <p>学校希望制が導入された当時は、まだ開かれた学校というのは少なく、どちらかという校長先生主体に、学校の中は学校の中というような状況で、その中で学校活動が行われていました。そのため、いろいろな形でいろいろな生徒が来て、親御さんや生徒さんも選んで、学校の活性化とか地域に開かれた学校をつくることを</p>

	<p>目的に学校希望制度はつくられました。</p> <p>実際に何年間か運用してくると、今度は逆の面が出てきました。ある学校が改築して校舎がきれいになるとそこを希望したり、これは厳密には立証はできていませんが、あの学校はどうだとか、この学校はどうだとか、そういう風評みたいなもので生徒の移動が出てきたりというようなこともありました。</p> <p>あともう一方、要望があったのは、子どもは地域で育てていこうということで、町会の方とかいろいろな方が地域の中で育てたけれども、子どもがあっちの学校、こっちの学校へと、地域と子どものつながりが希薄になってきている。そういうご指摘もありまして、それではある程度の選択を残しながらも、指定校という形に戻す。そのかわりあの学校へ行ってこういうことをやりたいとか、そういう希望がある子どもはそこに行けるような形で今、指定校変更項目を追加しております。</p>
委員	<p>確認という程度の質問です。中学区域で特例措置が認められる区域で、例えばAの地域にいるこの子たちは、基本的に新校に入るように、小学校6年間をまず決められるわけですね。</p>
学校教育担当部長	<p>小学校はそうです。新校に入る。</p>
委員	<p>ところが、中学校になると高南中へ行きなさいということになるわけですね。</p>
学校教育担当部長	<p>そうですね。今の通学区域でいくと高南中に行くことになります。</p>
委員	<p>それが一貫校でと思えば、特例措置の申請をしなければならない。ついては理由が必要だということですか。もう理由なく特例で構わないのでしょうか。</p>
学校教育担当部長	<p>Aの地域に限っては理由なく、申請を出していただければそこは認めるということです。ですから、どちらも自由に選択できるというのではなくて、一応指定校は高南中ということになって、それに対して一貫で教育を受けてきたので高円寺中に行きたいという申請もできるという形です。</p>
委員	<p>B地域は新校の中学校が指定校である。ただし、高南中に進学することは認められる。杉森だとか他の中学へはだめだということですか。</p>
学校教育担当部長	<p>高南中は特例措置で選択ができ、杉森中や他の中学へという場合は、指定校変更基準に合致しなければ行けないということになります。</p>
委員	<p>そのことでどちらへ行けるのかと思いましたが2つあります。</p> <p>1つは都立の高等学校が中高一貫ということをかかなり進めて、学力を高めようとかいろいろなことをやって動いています。そこをむしろ希望する家庭もあれば、小中一貫校にいた場合に、最初から中高一貫校を狙っている家庭であるならば、小中一貫校よりは最初から6年単独で終わるところを選ぶ可能性はあると思います。小中一貫というのと中高一貫というのは、当然質問としては出てくると思います。それに対しての答えは必要だろうと感じました。</p> <p>またこういうこともあります。これは逆に、小学校単独で小中一貫校のほうへ入っていくという子どもです。これはBの杉三小へ通っている。そこで6年終わったから今度新校へ入ると、小学校から小中一貫でいる子どものところに、そっちが主流かもしれないところに、ある集団がポンと入っていく。ある固まりが、流れの中に途中から合流する格好になります。そうするとそれは悪いことであるという先入</p>

	<p>観は大体起きやすいかもしれないですが、実はそれも質問としてはあり得ると思います。しかし、例えば附属の小学校・中学校・高等学校から大学まで行ってしまいうこともありますが、そういった学校というのは、小から中へ上がる段階で、増員される。中から高へ行けばさらに試験制度を導入しながら他の血を入れていくというようなことをやって、単純に9年間なら9年間、同質固定化ではなくて新しい血をどんどん入れてしまうことによって活性化させるという。それをやらないとかえって一貫の弊害が出るという考えもあります。</p> <p>連携ということは大事ですが、血の入れ方みたいな固定化への対応策みたいなこともあれば、B地域にいる子どもたちには大変な面があっても、新校へ進学することはむしろ新たな経験になるかもしれません。高南中へ行くという選択肢もそこでもあるかもしれない。親たちの選択制の考え方、親が不安に思う気持ちのあり方、これらに丁寧に答えていけることではないかと思います。</p> <p>これから先々説明しに各学校を回られるということで、きっと出てくるのが、真剣な思いで悩んでいること。内気だからどうも手を挙げて聞きにくいなんていう人を先取りしたような、いろいろなケースを想定してお話をさせていただきたいと希望します。</p>
学校支援課長	<p>杉並区は全ての学校でいま小中一貫教育をやっています。例えば、高円寺中学校は杉四と杉八とやっていますし、杉三・杉十は高南中とやっています。もちろんそれで連携で特色あるものをやっていますが、先ほど言った公立学校ですので、ベース的には同じです。杉並区の場合には各学年のカリキュラムも前倒しとかしないので、基本的には杉三の6年生が学んでいることと、杉四や杉八の6年生が学んでいることは同じです。ただ、教え方は特色あることで違います。ですので、ご質問にあったように、別の学校から一貫教育校に入って不安ではないかというのは、もちろん不安はあると思いますが、入られても学校としてはきちんと責任を持った教育ができます。</p>
委員	<p>どこの学校でも一貫はやっていると……。</p>
学校支援課長	<p>杉並区はすべてやっています。</p>
委員	<p>でも、その一貫教育という捉え方は密度があると思います。普通に僕たち一般の親が聞いたときに、一貫という言葉は、ガチで一貫なんだと思います。でも、そこには交流しているから一貫というのか、連携しているから一貫というのか。でも、本当に研究授業までやっての一貫というのとはレベルの差があると思いますが、ひとくくりで一貫教育をやっていますと余り言わないほうがいいような気がします。それを目指しているというのはすごくわかりますが。</p> <p>でも、既にやっていますと言ったら、その現場の先生たちに対してすごく失礼なんじゃないのかな。何かわかりますかね。</p>
会長	<p>小中一貫教育は、杉並は課長の言うとおりにどこでも挑戦はしていますけれども、当然進み方の違いはあると思います。</p> <p>ただ、学習内容その他については、これは違っていてはいけないので、それに関してのご心配はないと思います。</p>
委員	<p>保護者の方に説明をしていくときとか、例えば新泉和泉などは、このように新し</p>

	<p>い学校とはどういうイメージなのというようなパンフレットをおつくりになると      思います。そういう中で他の委員がおっしゃったみたいに、具体的に私たちが例え      ば中高一貫の受験を考えているけれども、そういうときにはどうなのとか、やはり      普通にそう思っている疑問に対して丁寧に答えてあげれば、皆さんすっきりなさる      のかなと、今お話を聞いていて思いました。</p> <p>やはり小中一貫教育とはこういうものですよと言うばかりではなく、途中から入      ったらその子たちはすごくつらい思いをするのかとか、ぜひそういう人も入って      もらえることで、新しい学校がさらによりよくなりますよとか、そういう前向きにお答え      いただければ、不安なくその新しい学校に入れると思います。工事期間中はやはり      不安はどこでもあると思うので、そのときにも丁寧に、もちろん不安はあるだろう      けれどもある程度具体的にこういうことで対応していて、教育環境を支えていきま      すというようなことをお示しいただければ、保護者の方も少し不安が和らぐと思      います。</p>
学校支援課長	<p>委員のおっしゃるとおり、皆さん不安があると思いますので、これから5年間も      各学校の保護者会とかにお邪魔させていただいて、丁寧に説明しながら不安を取      り除くとともに、やはり新泉和泉で作成したそういったパンフレットも出しなが      ら、またこの地域の方にもいろいろと情報発信していきたいと思えます。</p>
会長	<p>ありがとうございます。いずれにせよ今後もこの問題については、丁寧な対応と      ご説明を進めていく必要があるかと思えますので、また学校・教育委員会と相談      しながら進めていければと思っております。貴重なご意見をありがとうございました。</p> <p>それでは、次に事務局からその他の議題についてお願いします。</p>
新しい学校づ くり係長	<p>事務連絡です。前回7回目の懇談会の会議録の要旨は既に確認いただいて、教育      委員会のホームページにアップさせていただいております。本日の会議録につい      ては年明けになると思えますが、次回の開催通知とあわせて送付させていただきます      ので、また内容のご確認をお願いできればと思えます。</p> <p>あと6月に創刊号として発行させていただいた新しい学校づくりニュースです      が、1月中を目途に第2号を発行させていただく予定にしております。内容として      は本日ご検討を再度いただいた新しい学校づくりの基本的な考え方を掲載するの      と、今年1年間3校によって取り組まれてきた児童・生徒の連携・交流の様子を伝      えられるような内容にして発行できればと考えております。</p> <p>最後に次回の懇談会ですが、年明け2月上旬に日程を設定できればと考えていま      すが、日程調整については本日はなく年が明けてから、私ども事務局からまた各      委員にご連絡させていただきまして、調整を図らせていただければと思えますの      で、どうぞよろしく願いいたします。</p>
学校支援課長	<p>今週の土曜日に開かれる教育シンポジウムのチラシを配らせていただきました。      前回の10月の懇談会の中で私から皆様に、この高円寺地域の新しい学校は、地域      運営学校で開校したいということと、この制度については簡単にはご説明しまし      ました。</p> <p>今年杉並区はその地域運営学校制度を始めて10年ということで、この地域運営      学校をやって子どもたちにどんな成果が与えられたのかということを検証するシ</p>

	<p>ンポジウムを開きますので、ぜひこの懇談会の皆様にもご参加いただきたいのと、お知り合いの方にもお声かけいただきご来場いただければと思いますので、よろしく願いいたします。</p>
会長	<p>お時間ございましたらシンポジウムへぜひお出かけいただければと思います。よろしく願いいたします。</p> <p>では、次回の日程については事務局で対応して、決定していただくというような段取りにしたいと思います。ちなみに会場は、次回は杉八小になりますのでよろしく願いいたします。</p> <p>では、ほかに委員の皆様方から特になければ、以上で今回の会は終了したいと思います。ありがとうございました。</p>